

第12回目をむかえる「日野川への想いを語る会」がこのほど、日吉津村中央公民館にて開催されました。第9回日野川フォトコンテストの入賞者表彰式と特別講演が行われ、意見交換会ではテーマを「ふるさとの川を守りはぐくむ～よりよい日野川とするために～」として日野川流域の各市町村及び鳥取県と国土交通省日野川河川事務所が様々な取り組みを発表し、これからの活動についても提案があり活発な意見交換会が行われました。



意見交換会 テーマ「ふるさとの川を守りはぐくむ～よりよい日野川とするために～」

ボランティア団体に支えられて **日吉津村**



日吉津村 石 操 村長

面積が2キロ四方の日吉津村では、耕地と宅地の中に、あれだけの空間を求めることは不可能と思っていました。しかし、我が村、そして流域の皆さんのために本当にいい公共空間の整備ができたかなと思っております。近年、日野川、日本海の海岸も含めて、ごみの不法投棄が非常に目立っております。ボランティアの青少年、女性の会、男性の会が毎月清掃活動をして頂いておりますので、比較的きれいに保っておるのかなというふうに感じております。

川や水とのいい関係を **南部町**



南部町 坂本 昭文 町長

日野川水系、法勝寺川ということで参加させて頂いております。南部町には40年～50年生の桜堤がございますが、町民の精神的な支え、文化の基盤をなすところまで発展しております。そういう桜堤を通じて、川や水との関係をいい関係で保ってきたのではないかなと思っております。川の整備に10数年かかったそうですが、川についてはそれだけの時間も資金もかけて、腰を据えてやっていく、それで、それを次の世代にきちんと繋いでいくことが大切なんだなとつくづく感じました。

きれいな水を提供したい **江府町**



江府町 竹内 敏朗 町長

江府町は、日野川流域ですが、もう一方、大山水系から大きな3本の渓流を受けています。江府町の町名は「水の集まる都」からきており、町にとって水はとても大切なものだと思っております。その意味では、やはり水を大切に、水を活用した地域活性化を頑張っていきたいと考えておりますし、下流域の皆さんにきれいな水を提供していくという責任も果たしたいと思っております。という訳で、江府町にとって水は本当に大きなウエイトを占めてます。地域活性化に対して意識をしながら対応している状況でございます。